

会議録

会 議 名	第 16 回文化芸術振興推進評議会
日 時	平成 27 年 10 月 14 日（水） 午後 4 時 00 分～ 5 時 30 分
場 所	学園都市センター 第 5 セミナー室
出席者氏名	評 議 員 白澤宏規・伊藤淳子・新堀俊明・有賀万美・牧野彦市・前田満寿美 西川柳時・五味渕栄子・寺山良子
	説 明 者 市民活動推進部長 大野哲宏 学園都市文化課長 小浦晴実・学園都市文化課 課長補佐 南部かや
	事 務 局 学園都市文化課 主事 露崎拓・主事 田邊紀博
欠 席 者 氏 名	宮崎珠子・飯塚栄子・鈴木雅徳
議 題	1 文化芸術振興計画策定について 2 その他
公開・非公開の別	「公開」
非 公 開 理 由	-
傍 聴 人 の 数	0 人
配 付 資 料 名	〔事前配付資料〕 資料 1 （仮称）八王子市文化芸術ビジョン ※骨子 参考資料 1 平成 26 年度文化振興計画取組一覧 〔当日配付資料〕 資料 1-2（仮称）八王子市文化芸術ビジョン ※骨子 「（新）文化芸術振興計画の施策の体系」に関する参考意見

会議の内容

【議題1】 文化芸術振興計画策定について

事務局

- ・資料1 第1・3・4章説明

座長

- ・「(新)文化芸術振興計画の施策の体系」に関する参考意見 説明。

座長

- ・皆様より、第1章の「計画の全体像」についてご意見いただきたい。

評議員

- ・「創造する」や「創り出す」はどこに入るのか。

評議員

- ・「文化の創造と継承」というニュアンスは必要ではないか。

事務局

- ・「創造性」については、具体的な言葉としては「創る・演じるを『ささえる』」で記述した。一方で、その他の柱にも創造性が関連してくることは承知している。

評議員

- ・文化芸術のさまざまな領域が整理され、認められているという印象を受け、前回より良くなったと思う。
- ・座長からの提案のあった「市民の視点」についてもう少し入れるべきではないか

事務局

- ・「市の視点」・「市民の視点」と、はっきり書いていないが、市民の視点を念頭に置いた上で将来像を記述した。

評議員

- ・少しずつ良くなっている。
- ・座長の提案の「市民の視点」についてはもう少し取り入れられないか。

事務局

- ・座長からの提案は的確な指摘であると感じている。
- ・将来像や市民の視点については、座長の提案と皆様からの意見を踏まえ、改良の余地はあると考えている。例えば、市民の視点については、方向性・将来像があり、そのための施策を行うことで、市民の側にどう

いう受け止めがあるかなどの記述ができるのではないかと考えている。

評議員

・キャッチボールや双方向性を出して頂きたい。

評議員

・市と市民だけでなく、市民同士で活動し、それを市が支援するなどのしくみが表現できないか。

事務局

・「創る・演じるを『ささえる』」の部分で、「仲間と一緒に創作活動を行っています」とあるが、もう少し市民同士での関わり合いについて記述することで、伝えられるのではないかと考えている。

評議員

・「方向性→将来像→取組」の順で並んでいるが、「方向性→取組→将来像」の順の方が分かりやすいのではないか。
・座長から提案のあった、英語での表記はとても分かりやすく感じる。

評議員

・「加わる」の英語表記について「Join」より「Participate」の方が良いのではないか。

事務局

・英語表記については分かりやすいと感じたが、英語のニュアンスと日本語のニュアンスとの違いの説明が難しいのではないかと感じている。

評議員

・「良さ・楽しさ」を『つたえる』にある“良さそう”・“楽しそう”と
感じることは、新たな人を取り込む上でも重要だと思う。

事務局

・文化芸術の関心のある人や文化芸術を嫌いだという人がいる。また、文化芸術に関心がない人や知らない人もいる。
・この関心がない人は、何かのきっかけで文化芸術の良さを感じてもらえる人たちであると感じている。このような人たちに“良さそう”・“楽しそう”と感じていただくことが文化芸術の裾野を広げることに繋がると考えている。

評議員

・裾野が広がらないというのは、「見たことがない」・「触れたことがない」ということだと思う。これを解決するには、ホールだけでなく、屋外などで「いつもなにかやってるな」と感じられる機会が必要だと思う。

評議員

・地域の小さな活動をどこまで市が把握できるのかという課題がある。把握できないと、手助けの方法もわからないと思う。

評議員

・「つたえる」とあるが、市がどんどんHPなどで動画などを発信していくのがよいのではないか。

事務局

・今回の計画策定において、WEBの発達というのは、10年前と大きく変わった点であり、今後10年で発達する部分であると考えている。

評議員

・車人形や篠笛の体験講座などは10回講座に、発表会など敷居が高いと感じる。少し1度やってみたい人達への仕掛けが必要ではないか。

評議員

・5つの柱のうち「つたえる」というのはかなり重要なことであると思う。

評議員

・最近若いお母さんは活発に外で活動しており、口コミで情報が広がっている。こういうお母さんに「八王子は住みやすい」と感じてもらうことが必要

座長

・第3章について何か意見はあるか。

評議員

・座長から提案のあった「多様な文化交流の推進」は数多くの留学生のいる八王子では重要だと思う。

・「八王子に誇りと愛着を感じるまち」で八王子にフォーカスし、「多様な文化交流」で外に目を向けることで、ダイナミックになるのではないか。

評議員

	<ul style="list-style-type: none"> ・第3章の各目指す姿の説明は、工夫が必要だと感じる。 <p>評議員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2つ目の目標は八王子らしさを出す上で必要だと思う。 <p>事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目指す姿は再度検討する。 <p>座長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第4章について何かあるか。 <p>評議員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画の対象となる文化芸術の範囲について、「鑑賞、創作、演奏・演技」をもう少し簡単な言葉にした方が良いのではないか。 <p>事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> ・座長から提案いただいた、市民の役割にある「創る・行う・学ぶ・知る・望む・加わる」などの言葉に置き換えることを検討していく。 <p>評議員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【文化芸術活動の重要な場である施設を取り巻く状況の変化】に書いてある内容はもっともであるが、大改修を行うにあたり、新しいものを造るのではなく、再度あり方を検討する必要がある。 <p>評議員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学等や学生の記述について、学生が文化芸術活動を行える環境が十分にあるかといわれると、そうではないと思う。多くの学生が、研究等で忙しく、文化芸術に時間を費やすことができていない状況だと思う。 <p>事務局</p> <p>学生企画事業補助金という仕組みがあり、補助金を活用している団体が老人ホーム等で吹奏楽による慰問などを行った。文化芸術だけではなく、そのような支援をしている。</p> <p>【議題2】 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし
--	---